

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成31年 3月15日

計画の名称	45 光と緑に映え、ゆたかで、住みよい、夢のあるまち(活力創出基盤整備) (防災・安全)									
計画の期間	平成23年度 ~ 平成27年度 (5年間)			交付対象	豊川市					
計画の目標	豊川市は、豊川稲荷をはじめとする歴史文化や自然環境に恵まれ、また、農業、工業、商業のバランス良い産業発展を背景に地域の活力を向上させてきた。平成の大合併により宝飯4町と合併を行い、18万人都市として、合併後の全市域の均等発展と地域の活力をさらに向上させるためには、産業基盤や住環境の基礎となる道路整備などの基盤整備等が必要となっているとともに、すべての市民が安全で安心して健やかに暮らすことのできるまちを目指すため、防災施設整備事業等の実施が必要不可欠である。 そこで、賑わいと活力のある豊川市を創出するため、道路等の基盤整備を推進し、道路交通の円滑化を図り、歩行者も安心して通行できる道路環境を目指す。あわせて、橋梁の耐震化・長寿命化や舗装の補修による道路の老朽化対策及び事前防災・減災対策、防災施設整備などの住環境、産業環境の向上に資する都市基盤整備等を積極的に行い、地域の防災・安全及び活力の向上を図るものである。 本計画では、防災・安全に係る基盤整備に必要な道路整備事業及び防災施設整備等を実施し、「元気の出るまち」、「住みたくなるまち」豊川市を、市民と協働で目指すものである。									
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり (社会資本整備) に係る市民満足度を-1.1ポイントから+7.3ポイントに上昇 ・市内全域の交通事故年間発生件数を1,378件を1,330件へ減少 ・市内名所・集客施設への訪問者数を5,174,514人から5,205,847人へ上昇 ・防災訓練への市民の参加割合を7.9%から8.8%に上昇 									
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値		備考				
				当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)				
市民意識調査の内、まちづくり (社会資本整備) に係る市民満足度の合計を集計する。				-1.1ポイント	+4.5ポイント	+7.3ポイント				
市内名所・集客施設への訪問者数を集計する。				5,174,514人	5,204,385人	5,205,847人				
市内全域の交通事故年間発生件数を集計する。				1,378件	1,378件	1,330件				
市内で実施される防災訓練に参加する市民の割合を集計する。				7.9%	8.5%	8.8%				
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,030 百万円	A	953 百万円	B	0 百万円	C	77 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	7.5%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
	・平成29年9月
・関係各課で構成される庁内評価組織により、数値目標の達成状況や効果発現について検証及び分析を行う。	公表の方法
	・都市計画課窓口及び市ホームページに掲載し公表する。

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業											上段 (計画) :	下段 (実施) :					
A1 道路事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
45-A1-1	道路	一般	豊川市	直接	豊川市	市町村道	交安	(他) 紅里東裏線	歩道設置L=153m	豊川市						55 55	※22-A1-1より移行
45-A1-2	道路	一般	豊川市	直接	豊川市	市町村道	修繕	(1) 野口平尾線	舗装修繕L=1,200m	豊川市						37 38	※22-A1-3より移行
45-A1-3	道路	一般	豊川市	直接	豊川市	市町村道	修繕	(1) 上宿樽井線	舗装修繕L=600m	豊川市						23 23	※22-A1-4より移行
45-A1-5	道路	一般	豊川市	直接	豊川市	市町村道	修繕	(1) 伊奈美和通線	舗装修繕L=500m	豊川市						31 31	※22-A1-6より移行
45-A1-6	道路	一般	豊川市	直接	豊川市	市町村道	修繕	(1) 木戸長草線	舗装修繕L=600m	豊川市						9 9	※22-A1-7より移行
45-A1-8	道路	一般	豊川市	直接	豊川市	市町村道	交安	(2) 伊奈鳥川線外120路線	道路反射鏡設置 N=100基	豊川市						34 32	※22-A1-10より移行
45-A1-9	道路	一般	豊川市	直接	豊川市	市町村道	交安	(他) 大池一宮豊線外9路線	交差点カラー舗装 L=400m	豊川市						19 19	※22-A1-11より移行
45-A1-10	道路	一般	豊川市	直接	豊川市	市町村道	交安	(他) 桜木通四丁目美幸一丁目線外11路線	路肩カラー舗装 L=3,000m	豊川市						30 30	※22-A1-12より移行

45-A1-15	道路	一般	豊川市	直接	豊川市	市町村道	修繕	(他)大草西方線<御津橋>	点検等に基づく橋梁修繕	豊川市								193 181	※22-A1-19より移行
45-A1-19	道路	一般	豊川市	直接	豊川市	市町村道	修繕	(他)高畑八反田線<行明橋>	橋梁耐震(落橋防止)	豊川市								2 2	※22-A1-23より移行
45-A1-25	道路	一般	豊川市	直接	豊川市	市町村道	交安	(他)横町椎木線<下橋>	現道拡幅L=50m	豊川市								108 81	※22-A1-33より移行
45-A1-31	道路	一般	豊川市	直接	豊川市	市町村道	交安	(他)宮前宮下線	現道拡幅L=100m	豊川市								59 60	※22-A1-36より移行
45-A1-32	道路	一般	豊川市	直接	豊川市	市町村道	交安	(1)平井新町線外50路線	海拔表示シート設置	豊川市								1 1	
45-A1-33	道路	一般	豊川市	直接	豊川市	市町村道	修繕	(1)樽井市田線他4路線	舗装修繕	豊川市								98 132	
45-A1-34	道路	一般	豊川市	直接	豊川市	市町村道	修繕	(1)城跡市役所線<上野川橋>他16路線	点検等に基づく橋梁修繕	豊川市								25 18	※15-A1-11~14,16~18,20~28,30を統合
45-A1-35	計画・調査	一般	豊川市	直接	豊川市	市町村道	計画・調査	橋梁長寿命化修繕計画	橋梁点検 N=171基	豊川市								71 54	
45-A1-36	計画・調査	一般	豊川市	直接	豊川市	市町村道	計画・調査	道路付属物点検・計画	道路付属物点検 N=80基	豊川市								6 7	
45-A1-37	計画・調査	一般	豊川市	直接	豊川市	市町村道	計画・調査	道路法面工等点検・計画	道路法面工等調査 N=3箇所	豊川市								3 1	
45-A1-38	都市防災	一般	豊川市	直接	豊川市	—	—	都市防災総合推進事業(豊川防災地区外4地区)	災害危険度判定啓発	豊川市								36 21	
45-A1-39	都市防災	一般	豊川市	直接	豊川市	—	—	都市防災総合推進事業(豊川防災地区外4地区)	防災倉庫整備 1箇所	豊川市								22 20	
45-A1-40	都市防災	一般	豊川市	直接	豊川市	—	—	都市防災総合推進事業(豊川防災地区外4地区)	まちづくり活動支援	豊川市								1 1	
45-A1-41	住宅	一般	豊川市	直接	豊川市	—	—	狭あい道路整備等促進事業	狭あい道路の拡幅	豊川市								5 4	
45-A1-42	道路	一般	豊川市	直接	豊川市	市町村道	交安	(2)足山田大木線	歩道設置L=630m	豊川市								16 12	
45-A1-43	道路	一般	豊川市	直接	豊川市	市町村道	修繕	(2)御油美世賜線	歩道橋の修繕	豊川市								69 26	
合計																	953 858		
B 関連社会資本整備事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考			
										H23	H24	H25	H26	H27					
合計																	0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果																		備考
C 効果促進事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考			
										H23	H24	H25	H26	H27					
45-C1-1	施設整備	一般	豊川市	間接	町内会	防犯	地域の安全性確保のための防犯灯設置	防犯灯設置 N=500基	豊川市									43 40	※22-C1-1より移行
45-C1-2	計画・調査	一般	豊川市	直接	豊川市	計画・調査	橋梁長寿命化修繕計画(点検含む)	橋梁点検 N=94基、修繕計画策定	豊川市									29 29	※22-C1-4より移行
45-C1-3	都市防災	一般	豊川市	直接	豊川市	—	減災対策事業	津波ライン路面標示整備	豊川市									5 5	
合計																	77 74		
番号	一体的に実施することにより期待される効果																		備考
45-C1-1	防犯灯を設置することにより、防犯機能が高まり市民が安全に道路を利用することができる。道路反射鏡設置(A1-8)と併せて歩行者の安全性を確保することにより、成果目標である「豊川市の住み良さ」の向上が期待される。																		

45-C1-2	道路交通の安全性を確保する上で、これまでの事後保全的な対応から計画的かつ予防的な対応に転換し、橋梁の長寿命化によるコスト削減を図るため、長寿命化修繕計画を策定する。	
45-C1-3	都市防災総合推進事業（45-A1-38）による災害危険度判定調査啓発の調査結果である津波浸水区域について、より効果的に市民等に周知する方法として、津波ラインを設置し、減災に努める。	

その他関連する事業								
計画等の名称 22 光と緑に映え、ゆたかで、住みよい、夢のあるまち(活力創出基盤整備)								
事業種別		交付対象	要素となる事業名(事業箇所)		市町村名		全体事業費(百万円)	備考
22-A1-2	道路	豊川市	(2)国府財賀線		豊川市		134 96	
22-A1-9	道路	豊川市	(1)篠東野口線外190路線		豊川市		55 54	
22-A1-13	街路	豊川市	豊川西部地区((都)姫街道線外)		豊川市		180 179	
22-A1-14	街路	豊川市	豊川駅東地区((都)豊川牧野線外)		豊川市		1020 370	
22-A1-35	道路	豊川市	(他)場正免仲上1号線		豊川市		36 36	
22-A1-37	道路	豊川市	(他)仲荒野口1号線		豊川市		129 126	
22-A1-38	道路	豊川市	(1)穂ノ原六角線		豊川市		102 76	
22-A1-39	道路	豊川市	(2)篠田足山田線		豊川市		150 77	
22-A1-40	道路	豊川市	(2)正岡牛久保線		豊川市		91 34	
22-A1-41	道路	豊川市	(他)御津下佐脇縄手野先線<立切橋>		豊川市		95 50	
22-C1-2	道路	豊川市	観光施設等の案内板		豊川市		51 50	
22-C1-3	道路	豊川市	観光施設等のPR		豊川市		1 1	

A'	1,941 百万円	B'	0 百万円	C'	52 百万円	$(C+C') / ((A+A') + (B+B') + (C+C'))$	4.3%
----	-----------	----	-------	----	--------	---------------------------------------	------

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 道路修繕事業、道路改築事業により、現道の拡幅や歩道の整備が行われ、市民満足度の向上につながった。 道路の拡幅整備や歩道整備に伴い、観光施設の案内版を設置したり案内マップを作成することにより、交通利便性の向上に繋がり、市内観光施設の訪問客数の増加につながった。 道路改築事業により現道拡幅や歩道の整備が行われることで、年間交通事故発生件数の減少に繋がった。 都市防災総合推進事業や減災対策事業により、災害危険度判定啓発や津波ラインを設置することで、住民の部際意識が向上し、市民の防災訓練参加者割合の増加につながった。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①（まちづくり（社会資本等に係る市民満足度）	最終目標値	+7.3ポイント	目標値と実績値に差が出た要因	<ul style="list-style-type: none"> 橋梁の調査点検といった老朽化建築物の修繕需要が高まり、当初予定していた修繕計画を継続して行ったものの最終目標には達しなかった。しかし、歩道整備や舗装修繕などの道路整備事業により社会資本等に係る市民満足度が向上した。 道路の拡幅や歩道の整備により交通利便性が向上し、また、これに伴い行われた観光施設の案内版の設置や観光施設案内マップの作成により、市内の観光施設の訪問客数の大幅な増加につながった。 道路改築事業において、当初予定していたよりも事業進捗が図れなかったため、最終目標値には達しなかった。しかし、計画当初の件数からは減少しており、当初においては発生件数が年々増加傾向であったことを踏まえると、道路拡幅や歩道整備事業により、交通事故年間発生件数の減少に寄与したものと考えられる。 防災倉庫整備、防犯灯設置事業及び津波ラインの路面標示など住民にとっても認識しやすい身近なハード整備を行うことで、防災意識が啓発され、防災訓練に参加する市民の割合の増加に大きく寄与した。 鉄道駅周辺や沿線での道路の拡幅や歩道の整備といった道路整備事業を行うことにより基盤整備を進め、鉄道駅利用者の増加に大きく寄与した。 計画目標である「住みたくなるまち」について、全国的に人口減少が進む中、市街地の基盤整備の実施により人口が増加しており、人口定着が進んでいる。
		最終実績値	+3.2ポイント		
	指標②（市内名所・集客施設への訪問客数）	最終目標値	5,205,847人	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	6,895,516人		
	指標③（市内全域の交通事故年間発生件数）	最終目標値	1,330件	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	1,363件		
	指標④（市内で実施される防災訓練に参加する市民の割合）	最終目標値	8.8%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	9.3%		
II-2 その他の数値指標 （設定した定量的指標以外の指標）による効果発現状況	その他指標① （市内鉄道駅の乗車人員の増加）	従前値	7,670,149 人 （平成22年度末）	効果発現要因	
		実績値	8,116,868 人 （平成27年度末）		
	その他指標② （市人口の増加）	従前値	179,864 人 （平成22年度末）	効果発現要因	
		実績値	180,087 人 （平成27年度末）		
		従前値		効果発現要因	
		実績値			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）					
3. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> 今後も道路の拡幅や改築など必要な社会資本整備事業を行うことで、交通の円滑化を図り、住環境及び産業環境の向上を目指す。 今後も道路整備事業により交通利便性の向上を図るとともに、市内主要施設の案内版の設置や観光マップの作成等を継続的に行うことで訪問客数の増加を図り、「元気の出るまち」の創出に繋げる。 今後も交通事故発生件数の更なる減少を目指し、道路の拡幅や修繕、カラー舗装などを行い、歩行者も安心して生活できる環境を整え「住みたくなるまち」の創出を目指す。 今後も減災対策や防災施設整備を行うことにより、地域の防災・安全及び市民の防災意識の向上を目指す。 					

(参考図面) 活力創出基盤整備

